

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪市永和1丁目 計画	階数	地上13F
建設地	大阪府東大阪市永和	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年11月10日
敷地面積	1,336 m <sup>2</sup>	作成者	森田 俊和
建築面積	330 m <sup>2</sup>	確認日	2022年11月19日
延床面積	2,932 m <sup>2</sup>	確認者	宮脇 宣綱



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	3.3
温熱環境	2.6
光・視環境	3.0
空気質環境	3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

機能性	2.7
耐用性	3.0
対応性	3.3

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.9

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・	2.5

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	4.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.0
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。	特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> 開口部遮音性能: T-2以上。 1.5% ≤ [昼光率] < 2.0%	<b>Q2 サービス性能</b> 住居部の天井高2.5m以上。 階高3.0m以上。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 植栽により、良好な景観を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物利用者のための適切な量の自転車置場の確保、駐輪場利用者の利便性への配慮 適切な量の駐車スペースの確保 駐車場の導入路(出入り口など)の位置や形状・数への配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-変-0016

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)東大阪市永和1丁目 計画							
	建設地	大阪府東大阪市永和							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			<b>B+</b>					
①	CO2削減			<b>3</b>					
②	みどり・ヒート アイランド対策			<b>3</b>					
③	建物の断熱性			<b>4</b>					
④	エネルギー削減			<b>3</b>					
⑤	自然エネルギー直接利用			<b>—</b>					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		